

## 第1回 豊能町小中一貫教育等充実検討委員会 教育環境部会 会議録要旨

- 1 日時：平成27年9月18日(金)午後2時30分から午後4時30分まで
- 2 場所：豊能町立西公民館 大会議室
- 3 次第
  - 1) あいさつ
  - 2) 教育環境部会について
  - 3) 意見交流
  - 4) その他
- 4 出席者：委員21名（代理含）、事務局8名

### 議事

#### 1) あいさつ（会長）

#### 2) 教育環境部会について

（事務局）

この部会は、保護者の委員、学校園所の所属長を中心に構成し、前回の全体会で示した方向性について、意見を出していただくことを趣旨としている。

#### 3) 意見交換

（会長）

今日は、前回の方向性について意見交換をしていきたい。

（委員）

保護者会では、保護者に現状の小規模学校がよいのか、西地区3校の小学校を統合するのがよいのか、子どものためにどう思うかのアンケートをとった。前回の委員会の資料をコピーし、各クラスに置いて、アンケートにはメリット・デメリットを抜粋して載せた。6～7割の回答。回答は6対4ぐらいで、西地区3小学校を統合した方がよいのではないかという意見が多かった。小さい子どもがいる方は、まだ学校に入るまで期間があるので、まだあまり実感がないという感じだった。

意見としては、

- ・バス通学までして統合する必要はない。
- ・各学校の良い特色は、統合しても引き継げるのか。
- ・統合しても2クラスだからそんなに変わらないのでは。
- ・統合でクラス替えしても、小規模並みに子どもをみれるのではないか。
- ・小規模がよいと思っている方も、条件が合えば統合してもよいと思っている。
- ・一般的な話ではなく、統合することで、豊能町として何に力を入れていくのか。
- ・子どもに直接聞いた保護者もいる。子どもは今の保育所の友達と離れたくない、みんな一緒にたくさ

ん人数がいるほうがよいとの思いもある。

- ・親の立場からは、PTA の役は小規模なら何回も回ってくるので、役の回数は少ない方がよい。小規模だと親の数も少ないので、言いたいことを言う人の意向に沿っていってしまう。などがあった。

(会長)

少人数のメリットはしっかり引き継いでほしいというのが保護者の意見ではないかと思う。

子どもに直接聞くのもよいと思う。ヨーロッパでは学校評議会に子どもが入って、子どもの意見をきく所もある。

(委員)

運営委員会で説明をした。光風台小学校はまだ2クラスあるので統合しないといけない切迫した思いはあまりないように感じた。

意見としては、

- ・小中一貫教育を契機に、教育委員会は統合したいのではないか。
- ・小中一貫教育には隣接型で小学校は統合し、中学校と小学校の形がよい。
- ・小中の段差はあった方がよい。もっと交流を増やし先生の協力があれば乗り越えられる。
- ・小学校の統合については賛否あり、賛成ではクラス替えができる環境が望ましいのではないか。切磋琢磨しながら過ごす環境がよい。何かあった時に逃げる場があった方がよい。反対意見では、少人数の素朴さがよい。地域に学校がなくなれば地域がすたれるのではないか。
- ・統合するのであれば、早めに住民や保護者に周知すれば、安心して受入れてもらえるのではないか。などがあった。

(委員)

東能勢中学校、東能勢小学校、ふたば園の役員で井戸端会議のようなものを行った。出た意見をまとめるのではなく、そのまま持ってきた。東地区の学校園では、今後も会議内容を役員に報告し、出た意見をまた会議で伝えていくようにしたい。

意見としては、

- ・中学校のクラブの人数が少なくなり、西地区と東地区とでクラブを合同で実施できないか。少人数のクラブではできることが限られ、やる気や競争心が持てない。
- ・子どもが少なくなっても地域に学校がある方がよい。
- ・人数が少ないと運動会が終わるのも早いので、小中で一緒に運動会などの行事関係を行ってもよいのではないか。
- ・何十年先に多額の費用をかけるなら、町全体の小中一貫校とし、子どもたちが自慢できる施設にするのがよいのではないか。

などがあった。

(委員)

約 120 家庭へ意見をきいたが、5 家庭より回答があった。中学校のクラブ活動のことはかなり心配。多人数で行うクラブがなくなってきているので、子ども達がやりたいクラブができない。西地区と統合できるようにしてほしいという意見が大半であった。

意見としては、

- ・小中一貫教育でステップアップが実感できる環境をつくってほしい。
- ・先生が変わっても 9 年間一緒なので、西地区との交流を進めた方がよい。
- ・今後さらに子どもが減っていく状況なので、最初から東西統一で検討した方がよい。
- ・小規模学校により、子ども達が成長する機会が減っているのではないか。自分に合った友達を見つけるのも大事だと思うので、小規模によりそのような機会が少なくなるのであれば、全部まとめて一緒にしたらよいのではないか。
- ・東地区で小学校と中学校を統合するのであれば、中学校の方に統合してほしい。

などがあった。

(会長)

東地区のクラブの人数が少ない点では、クラブが主な目的ではないと思うが、クラブの中で、子ども達が何かに没頭したり、友達関係を増やしたり、やり抜く力をつけたりとかで、クラブの人数が多いほうがよいと考えられている。人間関係の狭さが東地区では一番懸念されている。統合するなら西地区と一緒にするという意見であったように感じた。

(委員)

あまり環境が変わらないと子ども達も成長しにくいのではないか。新しい友達ができると、子どもも変わるかもしれない。そのような環境が東地区にはない。ずっと 1 クラスできているので、それを中学校で 2 クラスに分けたとしても新たな生徒が加わるわけではないので状況は変わらない。

西の状況がわからないので、会議で出た意見をまとめて役員等に報告していく。

(会長)

東地区では少人数での人間関係のことを保護者が大変懸念しているように感じた。西地区はいかがでしょうか。

(委員)

運営委員会の中で話し、身近な所でも話をした。

この委員会に参加される方で、この問題に関して、モチベーション、責任感、どの程度の課題意識があるかなど、バラつきがあるように感じる。今回はこのようにしてくださいというようなガイドラインというか、一定どこまでやるというものがあればよいと思う。具体的な事例があればよいが、漠然として意見をききにくい。町がホームページ等で情報発信をするなど、意見が出やすい環境をつくってほしい。

意見としては、

- ・子どもが安心できる環境が大事で、統合することもやむを得ないのでは。

- ・子どもの負担を考えると交通手段が整備された段階で、先生がよい環境で子どもを教えることが一番よいのではないか。
  - ・急に明日から統合するわけではないので、今の段階から小学校間で交流できるような運動会や交流会を行うなど、将来、統合する時に違和感がないようにすればよいのではないか。
- であった。

(会長)

保護者に説明する際に、方向性の内容では抽象的に書かれているので、具体的な事例の資料や見学に行くなどして、イメージをもって話す意見も出やすいのではと思う。

具体的なシミュレーションをすること。急に進めると心の準備も必要なので、準備期間の配慮も必要。急にできる話ではないので、意見をきいて話がまとまれば、カリキュラム部会の方で、その実現に向けて考えていく素地ができていくと思う。今からでもクラブ活動を活発にするなど、独自の小小連携ができるかもしれない。また、それをカリキュラムにも反映できるかもしれない。

(委員)

小中一貫教育は1つの学校に集めるものと思っていたが、前回の委員会で初めて、隣接や分離があることを知った。視察に行くことで自分の中でイメージを持つことができた。他の保護者の方も視察等に行けるのならイメージがわくと思う。

(委員)

前回の委員会は漠然としていて、何をどう意見するのかわからない。説明会を開くことも検討したが、何をどう話せばよいのかわからないので、ある程度、ニーズを踏まえて共通の条件を示してから意見をきいた方がよいではないかということで、そんなに意見はでなかった。

(委員)

PTAの役員は小学校高学年の保護者になり、あと少しで終わるので無責任なことは言えないような感じであった。アンケートのようなものがよいと思うが、もう少し話をしないと、どう聞けばよいのかわからない。

(事務局)

昨年度、教育委員会会議での議論では、中学校の規模が小さくなっているので、町で中学校を1つにし、小学校は東西残す意見もあった。

案としては、

- ・1つ目は、現状の2中学校、4小学校を残す。
- ・2つ目は、東地区、西地区毎に1中学校、1小学校にする。西地区は小学校を西地区の真ん中につくりたいという思いはある。
- ・3つ目は、町全体で1中2小にする。

中学校を1つにすると、クラブ活動が充実できるが、遠距離はバス通学になる。西地区では4キロ以

内は徒歩通学になるので、すべて徒歩通学が可能である。また、西地区の真ん中に小学校があり、中学校が近くにあって交流を深める方がよいと思っている。東地区は、東地区の良さがあるので、小中を残しておきたいと思う。そのような議論をしているが、どれがよいと決めているわけではない。

(会長)

子ども達のクラブ活動の充実とか小規模のよさを生かしてほしいなどの希望を考え合わせた時にどのような選択肢が可能かどうか。

- ・1番目の現状の2中4小を維持することについては、段々と少人数化していき将来が描けない。今なら多少お金がかけられるけど、時期が遅れるとどうしようもない状況になることも無きにしもあらず。
- ・2番目の東西に1小1中が、教育委員会では有力な考えであるが、西地区はなるべく小学校を中学校に寄せたい。
- ・3番目の1中2小では、小学校は東西に、中学校は1つにすることでクラブ活動が今より充実できる。

皆さんが大切にしていることなどが集約できるかどうか、案を示すことで話がしやすくなるのではないかと思う。

(委員)

PTA 役員で話したが、保護者全体に説明はしていない。保護者は物理的に1つになると思っている。メリット・デメリットを提示してもらわないと意見がでない。

前回の委員会で決定ではないけれど教育委員会が考えている方向性の話が保護者に伝えられるのであればもう少し具体的な意見がでるのではないか。

子どもがまだ小さい保護者は、中学生のクラブ活動の状況がよくわからない。幼稚園は小規模の方が良く、せっかく慣れた先生が変わることの方が嫌だと思う。幼児の立場で意見をきくのか、小学校や中学校に兄弟姉妹がいる立場で意見をきくのかわからないので、何かガイドラインのようなものがあればよいと思う。

(会長)

事務局である程度、可能性の選択肢のような資料を用意してもらえないか。それにイラストやメリット・デメリットなどを入れれば、意見が出やすいのではないかと思う。

(事務局)

一般的な一体型、隣接型、分離型の資料は作成できる。

(副会長)

東地区は、子どもが少ない状況で子どもの集団をどうするのかは大きな問題である。もう1つ、町や世論を動かすためには、少人数の問題がどこにあるのか。学力の問題、社会性がどう育つのか、将来の納税者としてどのどのな大人に育てていくのかという観点から、少人数であることの問題を先生も含めて出していただけたら、より説得力を持たせることができ、それもこの会議では重要なことであると思

う。小中一貫や小中連携は未来志向の考え方であり、今よりもっと良い面があることを先生方も含めて夢を出してもらえれば、保護者の意見を支えていくものになるのではないかと思う。次回以降の点についてもきかせてもらえればと思う。

(委員)

役員会で今までの経緯を話し、保護者に意見をきくまでいっていない。これまでの経緯では平成 22 年に検討し、5 年経過してこのような状況にあり、小中一貫教育について、施設を 1 つにするのか、分離型なのか隣接型なのか具体的でないと話ができない。いつまでにとという危機感を持たないといけない。

(事務局)

意見を聞いているとハード面に関心が向いているが、教育委員会としては、様々な案がある中で、東西それぞれ 1 小 1 中でという思いである。将来の子どものことを考え、教育の充実という視点で、賑やかで多くの子どもがふれあえる学校を望むのか、小さいけど丁寧で細かな事に行き届く学校を望むのか、話をしていただき、その中で町が進むべき方向を見定めるという思いである。来年度には方向をはっきり出して進みたい。

(委員)

时期的なものを保護者に伝えてあげれば、幼稚園や小学校低学年の方が影響があると思われ、意見がもう少し出るかもしれない。

(委員)

今回、いろいろ意見を言って夢を描いて盛り上げて、最終お金がないと言われたら、保護者のモチベーションがさがる。

(委員)

5 年かけて整備しても、その間に想定以上に子どもが減った場合はどうなるのか。

(事務局)

出生数はわかるので、5 年後の見込数は想定できるが、10 年後までの想定はできない。近隣でも、新たに整備した学校をすぐに増築しているケースもある。

(委員)

統合するという意見が多く、ハード面にウエイトがいつまで続いていると思うが、そこでどのような教育をするのが大事で、40 人でクラスを分けるという扱いがいつまで続くのか。5 年後に整備しても 1 クラスでスタートする場合も考えられるので、もう少し細かく見ていく必要がある。それに、学校を統合しても、通学に時間を要すれば、転出される場合もあるかもしれない。統合後の姿をよくみておかないと、後でこんなはずではなかったということになる。

(会長)

例えば、統合でバス通学するのに時間のロスがあり、クラブ活動については仲間が増えるかもしれないが、そのロスで活動時間がなくなる。小規模人数のよさの意見もあり、統合しても39人で1クラスになれば、今まで17人程度できめ細かく見れたのが、デメリットになる。それをどう乗り越えるのか。例えば、町の運用で通常1クラスを2クラスに分けるなど。それは、意見をきいて条件を整えるときに、堅持するメリットのことを明記しておかないといけない。出た意見を受け止めて、それが守れるような形での学校づくりをカリキュラム部会で話していきたい。

次回も意見をいただきますが、事務局より選択肢と、そのメリット・デメリットが示され、それに関する意見を付け加えていただき、話し合いの手掛かりをつかんでいただければと思う。

(副会長)

このような話し合いの場では、情報の共有が大事だ。まだまとまらない段階で、あれもこれもというような意見が大事で、まどろっこしいと思うかもしれないが少し我慢をして様々な意見を耳を傾けていると、だんだんと固まってくると思う。もう1つは行きつ戻りつもある。勇気を持って止まりまた戻るとは必要と思う。皆さんそれぞれの立場で意見を出していただき、実現に向けた会議にしていきたい。

#### 4) その他

(事務局)

本日持ち寄っていただいた意見で、この場で資料提供してもよいのであれば、事務局で取りまとめて各委員に配布します。

(今後の予定)

- ・第2回教育環境部会 10月8日(木)2時～ 光風台小学校
- ・第3回教育環境部会 11月24日(火)豊能町役場